

挨拶

広島大学経済学部附属
地域経済研究センター長 榎 本 功

本日は大変お忙しいところをご参加いただきましてありがとうございます。先程次長が申しましたように、本年度は瀬戸内海をテーマに、シンポジウムそして本日の研究集会を開催して参りました。今まで2回のシンポジウムで、いくつかの問題提起をさせて頂いたところです。

そこで本年度最後の研究集会で再び問題提起をさせて頂こうと思っていましたところ、瀬戸内海の東の方の淡路島や神戸で大変な地震が発生し、しかも集積のある大都会の真下での地震という事で、こういった事も含めまして私どもの瀬戸内海を考えていかなければならないという事ですし、改めて問題意識を強めているところです。

本日もいろんな角度から、そういった地震等々も含めましていろんなご提起があると思います。ご案内のようにやはり瀬戸内海を考えます時に、やはり歴史も押さえさせて頂こうではないかという事で、今日は原田先生に基調講演をお願いしまして、村上水軍の歴史的な役割等々から瀬戸内海を考えさせて頂き、そしてそれを受けましてパネル討論会で、いろいろ瀬戸内海の問題について考えさせて頂きますので、宜しく皆様方のご参加を頂きたいと思っております。できるだけパネルのところでもフロアの方々のご意見を賜りたいと思っておりますので、本日は宜しくお願い申し上げます。



挨拶

地域経済研究推進協議会会長

中国経済連合会専務理事 中島正雄

地域経済研究推進協議会は平成元年の5月に広島大学経済学部にて地域経済研究センターが新設されたのを契機としまして、地域経済に関する研究活動を一層推進しまして、地域経済の活性化を図ることを目的とするとともに翌年の平成2年3月に地元の産学官の方々のご参加を得て設立されたもので、まもなく5年目を迎えようとしています。この間、会員の皆様方の絶大なご支援の下にシンポジウムとか研究集会、セミナー、研究会等、各種の行事を広島大学経済学部附属地域経済研究センターとの共催で行って参りました。また、これらの行事の成果を報告書として刊行することによりまして、地域経済の活性化に役立てていこうと考えている次第です。



今年度は先程からご紹介がありましたように、「瀬戸内地域の将来発展と課題」ということを共通テーマにしまして、これまで2回のシンポジウムを開催して参りました。そして今回の研究集会では、この共通テーマのもとに本日と明日の2日間に亘りまして、基調講演・パネル討論会・研究報告をさせていただきますことになっています。本日は、これから愛媛県越智郡博多町から作家の原田八束先生をお招きしまして、「瀬戸内海に見る村上水軍の歴史的役割」というテーマで基調講演を戴きます。基調講演を受けまして、引き続き岡山大学の阿部助教授、香川大学の井原教授、(株)いよぎん地域経済研究センターより正岡さん、山口大学吉村教授の4名の方々によりまして、櫛本教授の司会のもとにパネル討論会を開催致します。原田八束先生を初め、パネル討論会の討論者の方々には、大変お忙しいところお出まし頂きまして誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。また明日は中国・四国のシンクタンクの方にご出席を頂きまして、午前午後を亘りまして併せて6件の研究報告をして頂くことになっています。報告者・座長並びに討論者の方々には、諸事ご多用中のところお出まし頂きまして、誠にありがとうございます。今回の研究集会が地域の発展に寄与するとともに、ご出席の皆様のお役に立つことを確信しております。

最後に一言、当協議会への入会のご案内を毎度行っているわけですが、お願いをしたいと存じております。地域の産学官の方々のご協力によりまして、現在の会員数は53団体です。今後一層活動を活発に推進するためには、より多くの皆様方にご入会頂きまして、バックアップを戴きたいと存じます。宜しくご支援のほどお願い致します。入会の

手続の詳細につきましては、中国経済連合会の中に協議会の事務局がありますので、お問い合わせ頂ければ幸いです。ではどうぞ最後までご静聴下さいますようお願いを申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。